

児童発達支援 事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年 4月15日

事業所名:きららkids奈良

区分	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	8	2	0	人数調整している。	利用人数や特性に応じて、スペースの使い方を考慮していきます。
	2 職員配置数は適切であるか	8	2	0	利用数によって多少はあるが、その日の役割を決めて臨機応変に対応している。	振り替えなどの日程調整に対応した役割分担や配置の調整をしていきます。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	9	1	0	コーナー分けや時間などを構造化し、安心して過ごせる環境を作っている。また、写真やイラスト等で「ここは何をする場所」かを伝え、活動と場所を連動させ切り替えや集中しやすいようにしているが、まだ改善していきたい。	動線が崩れやすいところ、危険が伴いそうな箇所等見直していくと共に、視覚支援をさらに取り入れたり、クールダウンの空間を用意するなど、引き続き改善をしていきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	10	0	0	毎日掃除をしたり、活動に合わせて環境をつくっている。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	6	4	0	職員とパートの情報交換や毎日利用者別に目標や注意点をミーティング時に確認はしているが、振り返りが不十分な部分もある。	一部の職員だけでなく、全員で共有や情報交換ができるように、仕事量の調整や振り返りの時間を設定していきます。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	9	1	0	保護者の意見をもとに職員で話し合い見直している。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	9	1	0	HP及び事業所の掲示板に公開のお知らせをしている。	

区分	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	7	2		なるべく外部評価をもとに業務改善に努めていきたいので検討します。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7	2	1	外部からの研修を月に1回行っている。また、同法人の3事業所でのリモート研修や外部の研修に参加もしている。	内・外部研修も引き続き積極的に参加していき、非常勤職員は研修の機会が少ないので内部でも共有できるようにしていく。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	10	0	0	スキルチェックや支援員同士の話し合いをしている。	
	11 子どもの適応行動の状況を計るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	9	1	0	現在、自事業所の療育内容に応じたスキルチェックをしている。	五領域に対応した支援に繋げていくためにMSPA等の導入を検討していきます。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	9	1	0		
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	8	3	0	前回の様子や引継ぎを見て支援しているが、支援計画内容を把握するのが難しいのでもう少しこまめに確認できるよう工夫していく必要がある。	・計画を確認しやすいように、作り方や内容を改善していきます。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	10	0	0	年間計画を職員全員で検討しそれに沿って活動プログラムを決めている。また、利用者に合わせて活動に参加できるように配慮もしている。	
15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	10	0	0	定期的に会議を実施しており、去年のプログラムと比較しながら内容が重ならないように気を付けている。	活動のねらいはぶれないように固めつつ、内容は固定化しないように話し合いをしています。	

区分	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	10	0	0	個々の特性や状況、ニーズに応じて対応し集団活動も取り入れている。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	10	0	0	前回の子ども様子などの情報共有している。その日の時間配分、担当、役割等をスケジュールシートで確認している。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3	6	1	職員同士で子どもの様子について情報交換を行っており、気づいた点や注意点などは引継ぎを個別に記録し事前ミーティングに反映している。	支援経過の共有はできているので、打ち合わせの時間を確保できるように努めます。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	10	0	0	個々に支援記録をしている。	記録はできている。検証や改善の時間をより確保できるように努めています。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	10	0	0	定期的に会議で行っている。	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか	10	0	0	定期的に会議で行っている。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	4	6	0	保育所等訪問支援で一部関係機関と連携している。また、相談支援員がついている利用児は連携している。	連携を強化していきます。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	0	8	2	医療的ケアが必要な対象児がいません。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	0	8	2	医療的ケアが必要な対象児がいません。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	3	3	4	保育所等訪問支援にて情報交換など行っている。	保育所等訪問での情報交換から連携を強化していきます。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	3	5	2	必要に応じて一部情報交換を行っている。また、送迎の際に可能な範囲で行っている。	小学校への引継ぎなど情報提供をしてくれるよう配慮していきます。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	2	6	研修や協議会などで機会があれば情報交換などしている	専門機関が行っている研修や発信している情報を積極的に取り入れ、機会があれば参加していきます。

区分	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	3	7	保育所等訪問にて一部ある。	保育所等訪問を通じて関係や連携を広げ、強化していきたいです。
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	2	3	5	連絡協議会には参加できている。	引き続き積極的に参加していきます。
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	9	1	0	保護者の方にはなるべく具体的にわかりやすくお子さんの様子を伝えるように心がけている。	
	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	2	7	1	個別の心理教育は今年度も実施しているが、集団でのペア・トレーニングは将来的には行ってきたい。	個別の心理教育などからペアレントトレーニングに少しずつ繋げていけるようにしていきます。
保護者への説明責任等	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	9	1	0		
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	9	1	0		
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	9	1	0	保護者の方の困りごとやニーズに合わせた支援が出来るように心がけている。	要望がある時には出来るだけ対応しているので継続していきます。
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会などを開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0	1	9		保護者の方にアンケート等を実施し、需要に合わせて、懇親会や相談会などを年に数回設けていくよう検討します。
	36 子どもや保護者からの苦情について、対応の体勢を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9	1	0	職員全員で話し合い、改善策を考えている。	
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	10	0	0	月1回きりら通信を発行したり、ブログ等の更新をしている。	ブログなどの更新を保護者の方等に企業向けアプリにて周知していくよう検討中。
	38 個人情報の取扱いに十分注意しているか	10	0	0		・定期的に見直しを行うと共に、職員間で認識の共有をしています。
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8	2	0	イラストや写真を使ったり簡単な言葉を使って具体的に説明したりしている。	
40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	1	9	現在は行っておりません。	卒所した利用者などを含めたゲーム大会などを検討していきます。	

区分	チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	改善目標、 工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時などの 対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	8	1	1	保護者には契約時に避難経路や緊急時の対応等、重要事項説明を用いて伝えられているが訓練はしていない。 また、BCPは作成しているが周知はまだできていない。	マニュアルを事業所内に設置し、保護者に周知していくと共に、防犯訓練や既存の訓練を実施した際に企業向けアプリを利用して発信をしていきます。
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	10	0	0	訓練は行っているが避難経路の環境整備が必要。	引き続き訓練を実施し、訓練後のミーティングなどを通して改善を重ねていきます。
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	8	2	0	契約時のアセスメントでしている。	アセスメントシートの内容を見直し、より利用者の状態を把握できるように努めます。
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	8	0	2	医師の指示書が必要な対象児童がいません。食物アレルギー対応の有無を保護者に確認し、必要な場合は部屋や食べ物、食器など個々に応じて対応している。	
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	10	0	0	全員が確認できるよう回覧している。	
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	10	0	0	研修を受けている。	
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	9	0	1	現在対象となる児童はいないが、保護者に対しては契約時に確認するようにしている。	引き続き説明をしていき、職員間での認識も強化していきます。